

# 平成25年度 三条市図画工作部 活動報告

部長 大原貞雄

## 1 研究主題

表現及び鑑賞活動を通して、感性を働かせ、つくり出す喜びを感じ取る子どもの育成

## 2 研究の概要

学習指導要領では、表現活動及び鑑賞活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うことを目標としている。

これまで、上記の目標達成のために研修を深めてきたが、表現活動の中の絵画指導に重点を置いた研修を進めてきた。そこで、今年度は、工作を通して児童の造形活動について研修を深め、実践活動を行っていくこととした。

## 3 事業の実際

月日・時間	活動の概要（活動名，概要，指導者等）	会場・参加者数
6月21日(金) 14:30 ～ 16:45	○活動名「身近な材料で作る動くおもちゃ」 ○講師 小嶋成夫 様（有明教育芸術短期大学准教授） ○概要 身近な材料で作る動く仕組みの工作を実際に製作した。仕組みが簡単。子どもでも短時間で作れる。材料は紙パックなどの紙だけどしっかり動く。作る過程が楽しめる。など、セット教材では味わえない楽しさと子どもの発想を生かせるという点で、充実した実技研修となった。	月岡 小学校 23名
9月25日(水) 15:30 ～ 16:45	○活動名 作品鑑賞 「自然主義絵画の成立 オランダ・ハグ派展象徴派一夢 幻美の使徒たち」 ○作品解説 学芸課 副参事 青木善治 様 ○概要 青木副参事様から、作品の見方や作品の背景にあるものをクイズ形式で解説していただいた。また、「ハグ派」と呼ばれる風景画の美しい海や空、そこでつましく生きる人々の日常が描かれている作品鑑賞を通して、図工の時間や校内展覧会での作品鑑賞の仕方を学んだ。	県立近代 美術館 23名

## 4 成果と課題

部員の要望を生かし、これまで研修会で取り上げてこなかった工作を実作することで、子どもの発想の生かし方や子どもへの指導の方法を実際に学ぶことができた。また、美術館での作品解説を通して、学校での作品鑑賞の在り方を具体的に学ぶことができた。

今後も、部員のニーズや実態に沿った研修会を実施していく必要がある。